



南市民センターだより

編集・発行 鶴ヶ島市南市民センター

鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘375-1

TEL 287-0235

Mail 10400040@city.tsurugashima.lg.jp

南市民センター整備基本計画策定にあたり ワークショップを開催します

南市民センターは、令和11年度、鶴ヶ島文化会館敷地に移転する予定です。

新施設の整備にあたり、今年度は整備基本計画を策定します。計画の策定にあたっては市民参加のワークショップを開催し、機能や整備の内容について検討します。現在、利用されている方はもちろん、新しい施設を利用したいと考えている方など、様々な方々から意見を伺います。

ワークショップは、3回（6

月・8月・10月）開催する予定です。全ての回への参加を前提としています。ぜひご参加ください。

申込み 5月7日（火）～6月8

日（土）（日・月曜日は除く）の

9時～17時、南市民センターへ直接、電話、または下記

二次元コードから申込みできます。



南市民センター移転説明会

第1回ワークショップ

期日 6月16日（日）

時間 10～12時

場所 南市民センター

3月10日、移転説明会を開催しました。参加者（153名）から様々な意見・質問をいただきました。その主な点を要約してご紹介します。

質問 なぜ、移転するのですか。

説明 全国的に人口が減少する中、国では施設の集約を推奨しており、全国的に人口減に見合う施設等の集約化を図る方向にあります。

鶴ヶ島市も、年少人口が減っており、施設の集約化を計画的に進めて

います。令和元年度策定の立地適正化計画及び令和3年度策定の公共施設個別利用実施計画において、学校も含め市全域で施設の集約を進めることとしています。鶴ヶ島中学校・西中学校の再編統合などもそうですが、鶴ヶ島文化会館敷地に南市民センターを移転し、施設の集約・複合化することも位置付けてきています。

また、公共施設の借地料も課題となつていきます。市全体で年間1億円の経費が掛かっており、現在の南市民センター用地もすべて借地という状況です。

質問 移転先決定の経緯と理由は？

説明 移転先の決定については、立地適正化計画及び公共施設個別利用実施計画の策定において、アンケートやパブリックコメントなどにより、市民の皆様のご意見をいただきながら方針決定しました。鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想策定においても令和4年度、説明会やアンケート、関係団体のヒアリング、ワークショップ、パブリックコメントを実施しています。

移転先については、立地適正化計画や公共施設個別利用実施計画を策定する際に、南市民センターをどこに移転すべきか検討する中で、市の所有地である鶴ヶ島文化会館敷地が最も適していると判断しました。